

# 議会だより

## 定例会

令和元年第2回定例会は6月20日に招集され、提出された案件を審議し閉会いたしました。

### 発議

○まちづくり等調査特別委員会の設置について

委員長 藤井 雅仁  
副委員長 北島 勝美

### 承認

○専決処分の承認を求めるところについて〔北竜町税条例の一部改正について〕

### 原案可決

- 北竜町国民健康保険条例の一部改正について
- 北竜町介護保険条例の一部改正について
- 北竜町農業集落排水処理施設条例の一部改正について
- 北竜町個別排水処理施設管理条例の一部改正について
- 北竜町簡易水道事業給水条例の一部改正について

○北海道市町村総合事務組合規約の変更に關する協議について

○北海道市町村職員退職手当組合規約の変更に關する協議について

○北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更に關する協議について

○令和元年度北竜町一般会計補正予算(第2号)について

既定予算に115,599千円を追加し、予算総額を3,907,383千円とする補正予算

○令和元年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

既定予算から1,749千円を減額し、予算総額を309,051千円とする補正予算

○令和元年度北竜町介護保険特別会計補正予算(第1号)について

既定予算に5,244千円を追加し、予算総額を319,544千円とする補正予算

○令和元年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計補正予算(第1号)

について

既定予算に3,009千円を追加し、予算総額を111,709千円とする補正予算

○令和元年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第2号)について

収益的収入で500千円を追加し、総額を68,066千円とする。

### 報告済

○平成30年度北竜町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

○株式会社北竜振興公社の経営状況を説明する書類の提出について

### 意見書提出

次の意見書を可決し、関係省庁に送付いたしました。

○新たな過疎対策法の制定に關する意見書

○日米貿易協定交渉から日本の農業・農村を守る要望意見書

## 第23回議会議長杯

### 町民パークゴルフ大会

第23回議会議長杯パークゴルフ大会は7月7日に開催され、43名(男性28名、女性15名)が参加しました。

当日は天気も良く、絶好のパークゴルフ日和であり、町民の方々と交流しながら盛会のうちに終了しました。

#### ●男子の部

優勝 伊藤 勝造

#### ●女子の部

優勝 大路 恵津子

#### ●ホールインワン賞

伊藤 勝造  
橋本 剛



# 一般質問

6月20日に開会された第2回定例会では、2名の議員から2件の一般質問がありました。



尾崎議員

## あかるい農法の時代に活躍できる人材を

「あかるい農法の時代に活躍出来る人材を」ということで、相互の立場で本音を理解し合い北竜町の夢を実現させたい。

まずひとつ目は、町にとつて移住者がどのような存在かという点で、町から見た移住者、特に新規就農者はどのような存在だったかを教えていただきたい。またふたつ目として、新規就農者を受け入れた当時の行政の反省点があれば教えていただきたい。

### 佐野町長

ひとつ目について、新規就農者は高齢化や担い手不足などの問題を抱える本町の農業において、非常に大切に貴重

体系的な支援体制の整備を図っている。今後も新規就農者の良き相談相手となりながら、事業を進めていく。

### 尾崎議員

総合計画の「あかるい農法ひまわりの町北竜町」において、人口減少にどう対処していくかを提案したい。

な存在であると考ええる。また担い手としてだけでなく、移住者は夢や希望・専門的知識を持って移住されており、町民も新鮮な刺激を受け、より良いまちづくりにつながる可能性があると考える。ふたつ目については、その頃の関係者がすでに退職し、詳しく調査することが難しいが、当時は受け入れ農家の体制作りが不十分であったこと、また、新規就農者の希望や意見を十分に聞き取ることが出来なかったと考えている。

現在は指導農業士を中心とした受け入れ体制を構築しており、4月からは新規就農推進員を配置し、受け入れメニューから研修後の就農メニュー

の不安と緊張は大きく、目指すことがうまく伝わらず食い違いや誤解が数多くあったのがとても残念で、解決しないまま物事を進めて志を持つ人材を失望させ、去らせてしまったこともあり、それは町には大きな損失である。

なぜダメだったのかを調査するのは大切なことであり、受け入れを進めるために中間的な立場で話を聞くことのできるメンタルサポーターを置くことで、新規就農者と町とのより良い関係を育てていくことはできないか。

また、4月から新規就農推進員を配置とのことだが、受け入れ、就農メニュー等の支援体制の整備を具体的に教え

ていただきたい。

### 細川産業課長

元農協職員の方の桜庭氏を新規就農推進員として招き、行政だけでは詳しく分からない農業分野において、指導農業士や農協と一緒に話し合い研修メニューを作成している。また、見やすく心をつかむような掲示物を作成し、新農業人フェア等でPRしていきたい。

### 高橋副町長

作物それぞれのメニューを新規就農者に提供し、指導士とともに聞き取り、構築していくるようにしていく。また、就農段階では個人が法人かなど希望を聞き、情報等を提供できるように進めている。



中村議員

## 町民の健康管理について

### 中村議員

住民健診については、国民健康保険の方を対象に、委託

契約を結んだ医療機関での受診により、助成措置を行いデータの管理も行っているが、

委託契約を結ばなければならぬ理由は何か。近年の受診率の推移を提示していただきたい。

また、対象者でそれ以外の医療機関での受診者は何人いるのか。過去に、個人データを提出してほしい旨の案内があったが、現状でどの程度把握しており、今後もデータの集約をしていくのか。

最後に、健診受診率の上下による影響はあるのか伺いたい。

#### 佐野町長

生活習慣病対策の推進として平成20年4月から医療保険者毎に特定健康診査並びに特定保健指導を実施することが義務付けられており、40歳以上の国民健康保険加入者を対象に北海道対がん協会と深川市立病院と委託契約を結んでいる。また助成額についてはJA巡回ドック受診者も含めて全額助成している。

委託先以外の受診者は把握できていないが、近年の受診率は50から54%で国の目標の60%には到達していない。平成30年度から委託先以外の受

診者からのデータ提出を協力していただいた方を含め健診受診者数に反映している。現在の制度では国民健康保険加入者以外のデータの把握はできないが本人の希望によりデータを基に保健指導を行っている。

今後も目標受診率に到達するよう努力し、国民健康保険料の上昇を抑制していくと共に、健康教育、健康相談の機会を通して健康管理の推進に努めてまいりたい。

#### 中村議員

全額助成を行っているという点だが、個人負担はないということか。

#### 南地域包括支援センター長

受診の自己負担については、特定健診は無料であり、また、住民健診時に実施されるがん検診は、国民健康保険加入者に限らず無料で受診できる。

なお、委託している深川市立病院の人間ドックは1万円の自己負担となっている。

#### 中村議員

健診は町が指定する医療機関で受診することが望ましい

が、かかりつけの医療機関で受診することで、主治医への相談もしやすいと考える。データの提出が増えれば多くの町民の傾向など把握して、保健指導の指針になるのではないか。

また、データ集積に当たっては、指定する検査項目を満たし、領収書を提出することで、一部助成をすることができないか。

#### 佐野町長

人間ドックは現在、深川市立病院に限っており、個々の受診している病院で受診した方が利便性も高く助成できないかということであるが、町民の健康について町がどこまで支援できるか検討の時間をいただきたい。

#### 中村議員

病気の早期発見・早期治療が行えれば、本人の精神的・肉体的苦痛や金銭的負担が減るので、今後、協議をしていただきたい。

## 議員 コラム

昨年12月に月形のお友達議員に誘われて傍聴席に足を踏み入れた町議会。

特有の緊張感という怪物が議場の壁にぶつかり私に向かつて挑んでくる感覚とても表現しようか。それほど私の生活には異次元の空間だったのでした。

なんと急展開で「異次元」を「仕事場」にさせていただいて数ヶ月が経過し、なんと怪物はクリアできたようです。

早春の農作業に並行しながら入学式や祭事等数々の行事に出席して新年度のスタートに心新たにしたり、更に地域の行政視察で、私たちが快適に過ごすために多くの設備や多くの方々が携わってくださっていることに感謝したり、道内

行政視察で全道町村議会議員集団に見る景色や学びに新鮮な感覚を味わったり。

年齢遅ればせながら小学生の社会見学レベルですが、時代を受け継ぎ次世代への最善の受け渡しが出るよう務めます。

どうぞどなたでも「まちづくり」の現場に傍聴参加しましょう。

(尾崎圭子)

